



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO12 令和6年2月19日 文責 黒木 倫徳

能登半島地震への義援金を送りました

令和6年の年明けに発生した能登半島地震から今月末で2か月となります。石川県内のすべての公立学校の授業が再開したとの報道もありましたが、復旧・復興にはまだまだ時間がかかりそうです。そんな中、本校でも生徒会が中心となり「義援金による支援活動」が行われました。生徒のみなさん、保護者の皆様、先生方の心温まるご協力に心から感謝いたします。

【生徒会長 宮本さんより】

1月15日～1月26日までの募金活動で集まった合計金額は、5万6480円でした。このお金は高鍋町役場を通して、日本赤十字社へ寄付させていただき、被災者の方々の生活支援などに充てさせていただきます。このお金で命が助かったり、被災者の方々の笑顔につながったりすることができると思います。

ご協力ありがとうございました。



職場体験学習で働く意味を考える！（2年生）

1月25日・26日の2日間、東・西中学校の2年生が町内の57事業所において「職場体験学習」をさせていただきました。生徒にとりましては、「働く」ことを通して、苦労ややりがい、コミュニケーション能力の大切さや収入を得ることの大変さなど多くのことを学び、これからの生き方（進路）に大きな示唆を与えていただいたようです。お忙しい中、生徒のために貴重な体験をさせていただきました事業所の皆様方、そして、受け入れ先事業所への依頼や調整に奔走していただきました町キャリア教育支援センターの森様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【参加した生徒の感想】

◇ 働く上で大切なのは、思いやりの心（お客さんのことを思いながらすること）や先を想像すること（どうしたら効率よくできるかどうしたら喜んでもらえるか）で、このようことを考えながら働くこととても楽しいと気づいた。



高鍋町について発表しました！（1年生）

1年生が総合的な学習の時間に「高鍋町について」各自がテーマを決め、探究したことを2月2日の参観日で発表しました。発表のテーマは、高鍋の歴史や自然や祭り、食や伝統工芸など多岐に渡っており、どのテーマも興味関心を引くものばかりでした。また、発表の一つとして、町指定無形文化財・鳴野棒踊りを希望した生徒が堂々と披露しました。この発表には、鳴野棒踊り保存会の皆様方が昨年の12月から指導にあたってくださいました。高鍋の魅力をたくさん知ることができました。



高鍋町読書感想文・感想画表彰式が行われました

1月27日（土）に町美術館において、高鍋町小中学校「読書感想文・感想画」の表彰式が行われました。表彰式では、読書感想文で入選した児童・生徒の中から各学校の代表4名による発表会も行われ、本校からは、2年生の細川海音さんが発表してくれました。本校の感想文入賞者・感想画特選の生徒は次のとおりです。おめでとうございます。



読書感想文（入選）		読書感想画（特選）	
1年	角田恵里奈さん 小林結衣子さん	1年	山田 仁子さん 前田 桜咲さん
2年	後藤 由菜さん 河野 愛瑠さん	2年	細川 海音さん
〃	細川 海音さん	3年	黒木 梓帆さん
3年	長友 聖怜さん 黒木 律希さん		



「なわのおび賞」 受賞おめでとうございます！

本年度の石井十次「なわのおび賞」を大田桃歌（3年）さんが受賞しました。「なわのおび賞」とは、石井十次顕彰会が高鍋町の小中学生を対象に石井十次先生の精神や生き方を継承してもらうべく、善行やスポーツ、芸術などで感動を与えるような活動や業績を残した子どもたちに贈られる賞で、平成26年に制定されました。



大田さんは、本校の前生徒会長を務め、日常の生徒会活動の活性化や諸行事の企画立案だけでなく、「ウクライナ支援のための募金活動」や高鍋町社会福祉協議会が主催する「認知症講座」を生徒会役員が受講し、その内容を今度は講師となって全校生徒に講話するという活動等にも取り組んでくれました。※受賞にあたり常に協力して一緒に活動してくれました多くの生徒の皆さんにもこの賞を送りたいと思います。ありがとうございました。

